

職務経歴書

医療 与兵衛

19・・・年・月 ～ 20・・・年・・・月

〇〇市立病院 許可病床数：140床（一般病床 90床、介護療養型医療施設 50床）

診療科目：内科、外科、整形外科、肛門科、消化器科、循環器科、放射線科

19・・・年・月 ～ 20・・・年・・・月

血液浄化室に配属され、透析患者に対して血液浄化関連業務を行う。

- ・主に血液透析・血液濾過・血液透析濾過の機械的操作、保守点検と患者のブラットアクセスへ穿刺、安全管理を行う。
- ・透析は非生理的な体外循環を患者覚醒時に行い、また余分な体液量を計算して体外へ除水しているため危険度が高く、機器のトラブルは患者生命に直結するためスペシャリストとしての技術と素早い危険察知が要求される。そのため、常に患者とのコミュニケーションと技術的な習得を重視した業務を遂行する。
- ・自己免疫疾患の患者に対して行う血漿交換装置、血漿吸着装置の操作、保守点検を行なう。

〇〇年 〇月 透析技術認定士試験 合格

19・・・年 〇月 OPE室業務、循環器業務部門に移動

心臓カテーテル業務：

狭心症、心筋梗塞患者への検査、治療の Dr 介助を清潔野で行う。治療では、PTCA バルーン・ステントの加減圧やロータブレードの操作を行い、Dr と良好な信頼関係を構築、チーム医療の一員として積極的に参加する。そして、循環動態が不安定な患者に対して、PCPS（経皮的心肺補助装置）、IABP（大動脈バルーンポンピング装置）の操作を素早く行うことで、急性期医療の最後の砦として緊急循環動態維持業務を行う。

OPE室業務：

多種多様な ME 機器の操作、保守、点検を行い、業務提携診療科は一般外科、心臓血管外科、脊椎外科、成形外科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、脳神経外科など多岐にわたり、レーザー装置、顕微鏡、腹腔鏡装置、自己血回収装置など様々な機器を扱う。心臓血管外科においては冠動脈バイパス術、弁置換術、大血管置換術にたいして人工心肺業務を行い。自己血回収装置、人工心肺装置、心筋保護液冷却装置、超音波血流測定装置などを扱う。

・常に全ての業務に最善が尽くせるよう 24 時間 365 日体制で活動を行い、生死の狭間の緊張感を背負いながら、日々、切磋琢磨して、現在に至る。

（年間手術件数…OPE 3100 件、心臓カテーテル 1000 件）